

2019年3月16日(土) 15:00-17:00

参加：18名

司会・文責：堀越

1. 概要：

- ・初参加4名を含む総勢18名で、主に、恥ずかしいという現象の前提条件、生理現象と判断基準との関係性や、判断基準の正体について対話し、考えた。

2. 対話：

(0) 問いの提起：

- ・進行役から今日は「恥ずかしい」がテーマで、「なぜ恥ずかしいと感じるのか」と問いを提起した。

(1) 参加者が恥ずかしいと感じた事例(場面)：

- ①外で歩いていて転んだ。
- ②服を表裏逆に来て外へ出ていた。
- ③人に説明しているときに間違えた。
- ④交通事故(被害)で肛門が切れて縫ったが、人には被害部位を言えなかった。
- ⑤家族でテレビドラマを観ていて恋愛シーンになった。
- ⑥好きな人に告白した。
- ⑦会社の上司に間違って「お父…」と言ってしまった。
- ⑧Tポイントカード取扱店ではない店でカードを間違って出してしまった。
- ⑨小さい子(幼児)が見知らぬ人に出会った(お母さんの後ろに隠れた)。

(2) 恥ずかしいと感じる前提条件・要因は？

- ・自分が何かを間違え、間違っていると恥ずかしい。
- ・自分の行動が、自分の思っている常識から外れる、あるいは、想定外となると恥ずかしい。
- ・周りに誰もいなくても恥ずかしいと感じるのか？
- 無人島に独りで住んで、当面は誰とも会わない状況であれば、恥ずかしいと感じないのではないか。
- 本当か。ゴミをあまり考えずに捨ててしまい、その時点は何も感じないが、後で恥ずかしいと感じることがある。だから、誰かに見られることとは無関係ではないか。
- ・恥ずかしいという感情には色々ある。「誇り」とは逆の状態ではないか。
- 誇りや恥ずかしさがある状態は、抽象化された人間の集団・共同体が前提にあるのではないか。
- ・宇宙船にたった独りなら何も恥ずかしいと思わないが、猫や乳幼児でもいると我に返って恥ずかしいと感じるはずである。

(3) 生理現象と社会的規範との関係性は？

- ・⑨の前提には社会的に後天的に作られた規範があるように思う。乳幼児期にオムツを替えてもらっても恥ずかしくないが、今誰かにオムツをしてもらおうと恥ずかしい。幼児期には素っ裸で人前に出ても恥ずかしくない。幼児の人見知りには1歳から1歳半頃になると聞いたことがある。
- ・⑨の例は恥ずかしいのか。怖がっているのか。どちらか？→恐怖心は想像力が出てくる頃に身に付く。
- ・恥ずかしいは照れと同じで、生理的反応ではないか。
- ・母親は失敗を許すが他者は許すどうか分からない。だから、怖いや恥ずかしいと感じるのではないか。
- ・(うまく言えないが…) 仮説だが、緊張すると顔が赤くなるような生理現象と自分の行動を冷静に判断する基となる社会規範が、どこかでくっ付き、重なって、恥ずかしいと感じるのではないか。
- ・緊張と緩和(冷静)の話が出たが、恥ずかしいはそういう単純な生理現象ではないと思う。
- ・恥ずかしいとはそもそも感情なのか。生存本能とは違っていて、もう少し高度な判断があるのではないか。
- ・前提となる社会規範には、外れるとダメ(悪)、内側なら良い(善)という考えがあるはずである。
- 防衛本能のように損益を判断していて、生存にとってマイナスなら恥ずかしいと感じる。
- ・会社では良く見られたい。だから、家ではパンク룩でも、会社にはビジネススーツで行く。
- 他者をどれだけ敏感に意識するかによって、どう恥ずかしいと思うかが決まる。
- ・恥は、正義や道徳のように集団全員が一致するような円(基準)を想像し難く、後天的ではないか。
- ・失敗すると自分に腹を立てる。これは制御できない。これが恥ずかしいと感じる原因ではないか。
- 今までの話を聴いて自分の中では結論が出て、恥ずかしいとは社会的生理現象ではないかと考える。
- 自転車に乗る技術のように社会生活の中で規範を習得するが、それは無意識下で判断されて、現象は反射的に起こる。
- 耳が赤くなるのは反射だが、恥ずかしいという現象は本当に反射なのか。恥ずかしいは感情ではなく、まず恥ずかしいことだと思って、次に生理現象が起こる。感情より判断が先にあり、後から生理現象が起こるのではないか。

(4) 社会的規範の正体とそれを判断する自分とは？

- ・「私はこうあるべき」という像から外れるときに恥ずかしいと感じる。自分が意識している自分像には「自分だけが知っている自分(白部)*1」と「他者から見られているだろうという自分(赤部)*1」がある。白部はありのままの自分であり、赤部は社会規範に準じた自分かもしれない。赤部から白部がずれると恥ずかしいと感じるのではないか。*1) 白赤は当日描いたホワイトボード上の色の意。
- ・恥の閾値(社会規範)は経験によって変わる。子供を出産後は、どんなこともあまり恥ずかしいとは思わなくなる。
- ・恥ずかしいという現象は、新しい自分に出会うようなもので、未知との遭遇となってしまう、(自分の今までの社会規範から外れるので) 対応に困っている状態ではないか。
- ・自分という他者(=ありのままの自分とは違う冷静な他者のような自分)が客観的に判断している。
- ・同じ失敗を繰り返すと(こうあるべき姿が徐々にずれるので) 恥ずかしくはなくなるのではないか。
- ・「恥ずかしい」の対義語は何か。「誇らしい」か。「まともらしい」か。ないのではないか。
- ・他者が完全な人間であるという前提があるからではないか。他者も失敗をするという前提があれば、恥ずかしいと感じることが少なくなるのではないか。

3. まとめ：

- ・テーマ提起者としては、恥ずかしいと感じるメカニズムにある程度迫ることができたと考えている。対話中に初参加の方が「うまく言えるかどうか分からないが…」と考えながら言葉を紡いだ発言が特に印象に残った。